

第9回名古屋ビジネスセミナーを開催

●大学院経済学研究科

大学院経済学研究科附属国際経済政策研究センターは、3月27日(金)、野依記念学術交流館において、社団法人キタン会と共催で、第9回名古屋ビジネスセミナーを開催しました。

同セミナーは、大学の地域社会への貢献という時代的要請に応えるため、本学関係者に限定しないオープンなセミ

ナーを開催することにより、経済に関する「知」の共有を通じた地域社会活性化への貢献を目指すもので、毎回、重要な経済問題をテーマに、一流の経済学者、経営者、専門家を講師に迎えて開催しています。

今回は、講師として駐中国・インドの日本大使を歴任した谷野作太郎日中友好会館副会長を招き、「これからの中国とインドを読み解く」をテーマに開催しました。

はじめに、金井同研究科長より、あいさつを兼ねて今回のセミナーのポイントの指摘があり、続いて講演に入りました。谷野副会長からは、最近の世界同時不況が進行する中での中国・インド経済の状況と両国経済の優位点や弱点を含めた潜在力に関して、比較を交えつつ指摘があり、両国で日本企業が活動を行う際の課題について、包括的かつ詳細に説明がありました。現在のアジア経済で最も注目される両国の内部事情も踏まえた報告に対して会場からも活発に意見や質問が出され、予定時間を大幅に超過して終了しました。

会場には、東海地域の第一線で活躍するビジネス関係者をはじめ、産官学の多様な分野から定員一杯となる約100名の参加者が集まりました。



講演する谷野副会長